

実践薬学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Fukuda M, Qianjun L, Kishikawa N, Ohyama K, Kuroda N: Development of ultrafast colorimetric microplate assay method for ubiquinone utilizing the redox cycle of the quinone. *Microchem J* 150; 104104, 2019 (IF: 3.206)
2. Murakami N, Kitajima M, Ohyama K, Aibara N, Taniguchi K, Wei M, Miura H, Masuzaki H: Detection of disease-specific immune complex antigens in seminal plasma and follicular fluids derived from infertile male and female by comprehensive immune complexome analysis. *Clin Chim Acta* 495; 545-551, 2019 (IF: 2.735)
3. Ohyama K, Ikeshita Y, Fuchigami Y, Kawakami S, Nakashima MN, Nakashima M: Proteomic analysis and ATP assay reveal a positive effect of cerebral spinal fluid perfusion following microdialysis sampling on repair of probe-induced damage. *J Neurosci Methods* 315; 1-5, 2019 (IF: 2.735)
4. Sakai Y, Murakami E, Kato H, Ohyama K, Esaka Y, Yamamoto T, Hagihara M, Mikamo H, Uno B: Feasibility of trypsin digestion as a sample preparation for daptomycin quantification in murine skeletal muscles. *Biol Pharm Bull* 42; 751-757, 2019 (IF: 1.540)
5. Kobayashi S, Ishii K, Yamada Y, Ryu E, Hashizume J, Nose S, Hara T, Nakashima M, Ohyama K: Combination index of the concentration and in vivo antagonism activity of racemic warfarin and its metabolites to assess individual drug responses. *J Thromb Thrombolysis* 47; 467-472, 2019 (IF: 2.941)
6. Baba M, Ichinose K, Tamai M, Kawakami A, Ohyama K: Similarity of autoimmune diseases based on the profile of immune complex antigens. *Rheum Int* 39; 323-325, 2019 (IF: 2.200)
7. Ueki T, Nakashima M: Relationship between constipation and medication. *J UOEH* 41; 145-151, 2019

A-c

1. Aibara N, Ohyama K: Selective and sensitive mass spectrometric identification of immune complex antigens in cerebrospinal fluid. In *Cerebrospinal Fluid (CSF) Proteomics-Methods and Protocols (Methods in Molecular Biology)* (J. Fernández-Irigoyen J & Walker J eds: Springer), 2044, Chapter 15, 247-253 (2019)
- 2.
3. Aibara N, Ohyama K: Identification of antigens in immune complexes. In *Immunoproteomics: Methods and Protocols, Second Edition (Methods in Molecular Biology)* (Fulton KM & Twine SM eds: Springer), 2024, Chapter 22, 333-338 (2019)

B 邦文

B-a

1. 中嶋幹郎：薬学部が先導する在宅がん医療・緩和ケアの大学間合同 IPE－在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の取組－. *薬学教育* 3:1-6, 2019

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	2	0	12

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大山 要 ・准教授	Editor	Chromatography

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
中嶋幹郎 ・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) ドラッグリポジショニング創薬の成功率を

			高める医薬品探索法の開発
大山 要 ・准教授	武田科学振興財団	代表	研究奨励金 薬学系研究奨励 神経精神ループスに特異的な免疫複体の 形成阻害による根治療法の創出
大山 要 ・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 関節リウマチの関節破壊機序の解明:高解像 度 CT によるアプローチ
大山 要 ・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 免疫学的プロファイリングによる間質性肺 炎の病態解明と新規診断ツールと治療法 開発
大山 要 ・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) ドラッグリポジショニング創薬の成功率を 高める医薬品探索法の開発
黒崎友亮 ・助教	公益財団法人 上原記念生命科学財団	代表	研究奨励金 核酸医薬の肺選択的送達技術と肺線維症の 治療法の開発
黒崎友亮 ・助教	国立研究開発法人科学技術振興機構	分担	START(プロジェクト支援型第2サイクル) 負電荷ナノ粒子による標的化 DDS プラット フォームの構築
黒崎友亮 ・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 難治性呼吸器疾患に対する新規核酸医薬品 の開発

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
中嶋幹郎・教授	硝子体可視化剤	2005 年 10 月 14 日	2007 年 4 月 26 日	出願番号 2005-299760 公開番号 2007-106704
中嶋幹郎・教授	T-LEX 法 (ヒト肝細胞キメラマウスを用いる ジェネリック医薬品の安全性評価法) 商標登録第 5617856 号	2013 年 3 月 12 日	2013 年 9 月 27 日	商願 2013-17412
中嶋幹郎・教授 大山 要 ・准教授	線維化誘導遺伝子の発現抑制剤およびそ の用途	2018 年 10 月 31 日		出願番号 2018-205632
大山 要 ・准教授	免疫複体の網羅的解析方法および新規 関節リウマチバイオマーカー 特許登録番号第 5924659 号	2011 年 9 月 29 日	2016 年 4 月 28 日	出願番号 2011-215402
大山 要 ・准教授	中枢神経ループス (NPSLE) 診断用バイ オマーカー	2013 年 3 月 18 日		出願番号 2013-55543
大山 要 ・准教授	キノンを検出するための化合物および該 化合物を用いたキノンの検出法	2013 年 8 月 27 日		出願番号 2013-175654
大山 要 ・准教授	肺癌診断用バイオマーカー PCT/JP2015/69674	2014 年 7 月 24 日	2015 年 7 月 8 日	PCT/JP2015/69674
黒崎友亮 ・助教	薬物送達複合体	2008 年 9 月 1 日	2010 年 3 月 18 日	出願番号 2008-224118
黒崎友亮	抗原または薬物送達複合体	2011 年 02 月	2011 年 9 月 1	出願番号 2012-501869

・助教		24日	日	
黒崎友亮 ・助教	アニオン性を有する新規ナノバブルポリマー ポ・プレックスの製造方法	2013年8月 19日	2014年2月 27日	出願番号 2014-531611